



平成24年度 保健師中央会議

自治体における保健師の配置・ 活動の動向について（速報）

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課保健指導室



保健師を取り巻く環境

平成の大合併：市町村数の変化

平成11年3月31日

3232

▲1505

平成22年3月31日

1727

	S28.9.30	S37.1.1	H11.3.31	H22.3.31
市町村数	9,895	3,466	3,232	1,727
人口1万人未満	—	—	1,537	457
平均人口(人)	7,864	24,555	36,387	69,067
平均面積(km ²)	37.5	106.9	114.8	215.4

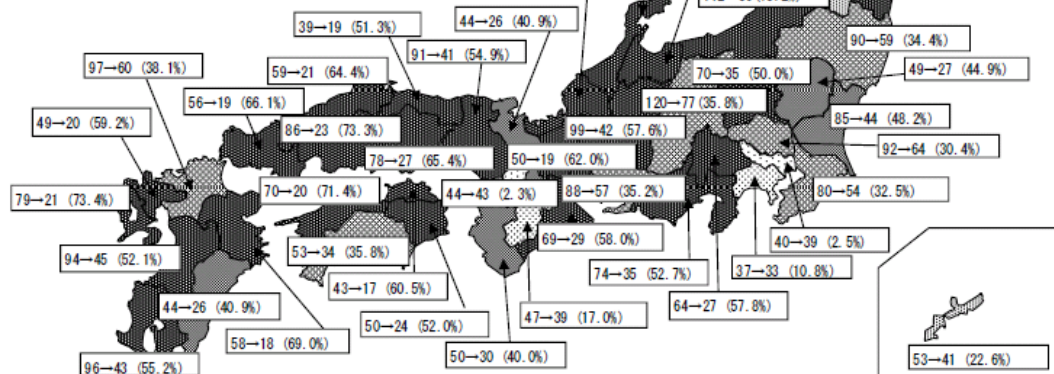
市町村数の減少率

(H11.3.31→H22.3.31)

50%以上	26県
40%以上50%未満	7府県
30%以上40%未満	7県
20%以上30%未満	2県
10%以上20%未満	3道県
10%未満	2都府
0%	0

	合併件数 (合併関係団体数)	H11.4.1 以降の 減少 団体数
旧法下 H11.4.1~	581 (1,991)	1,410
新法下 H17.4.1~ H22.3.31	61 (156)	95
計	642 (2,147)	1,505

凡例
a → b (c%)
a : H11.3.31の市町村数
b : H22.3.31の市町村数
c : 減少率



総務省「平成の合併について」より抜粋

http://www.soumu.go.jp/gapei/pdf/090624_05.pdf

合併による市町村減少率は 地域ごとに大きな差

減少率の大きい自治体（上位5つ）

	都道府県名	H11.3.31の 市町村数				H24.1.4の 市町村数				減少率
			内訳				内訳			
			市	町	村		市	町	村	
1	長崎県	79	8	70	1	21	13	8	0	73.4%
2	広島県	86	13	67	6	23	14	9	0	73.3%
3	新潟県	112	20	57	35	30	20	6	4	73.2%
4	愛媛県	70	12	44	14	20	11	9	0	71.4%
5	大分県	58	11	36	11	18	14	3	1	69.0%

減少率の小さい自治体（下位5つ）

	都道府県名	H11.3.31の 市町村数				H24.1.4の 市町村数				減少率
			内訳				内訳			
			市	町	村		市	町	村	
43	奈良県	47	10	20	17	39	12	15	12	17.0%
44	北海道	212	34	154	24	179	35	129	15	15.6%
45	神奈川県	37	19	17	1	33	19	13	1	10.8%
46	東京都	40	27	5	8	39	26	5	8	2.5%
47	大阪府	44	33	10	1	43	33	9	1	2.3%

総務省「市町村合併資料集」をもとに作成
<http://www.soumu.go.jp/gapei/gapei.html>

保健所数の変化

- 平成6～12年度にかけて保健所数は大きく減少。
- 都道府県、政令指定都市で減少傾向。一方、中核市では増加傾向。

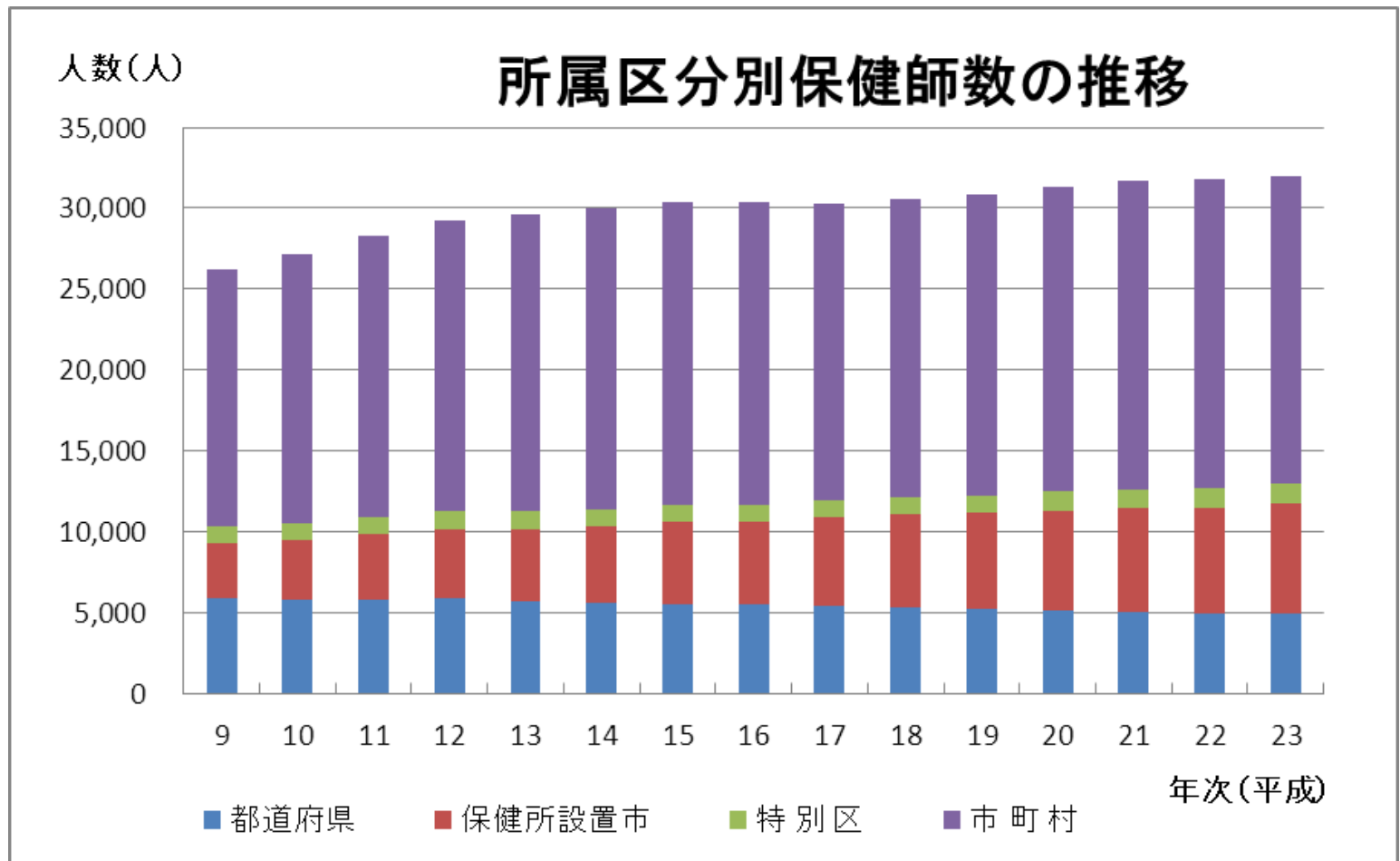
年度	都道府県	政令指定都市	中核市	保健所政令市	特別区	計
平成6年度	625	124	0	45	53	847
平成9年度	525	101	26	15	39	706
平成12年度	460	70	27	11	26	594
平成15年度	438	71	35	9	23	576
平成18年度	396	73	36	7	23	535
平成21年度	380	59	41	7	23	510
平成24年度	372	51	41	8	23	495



15年間の保健師数の推移

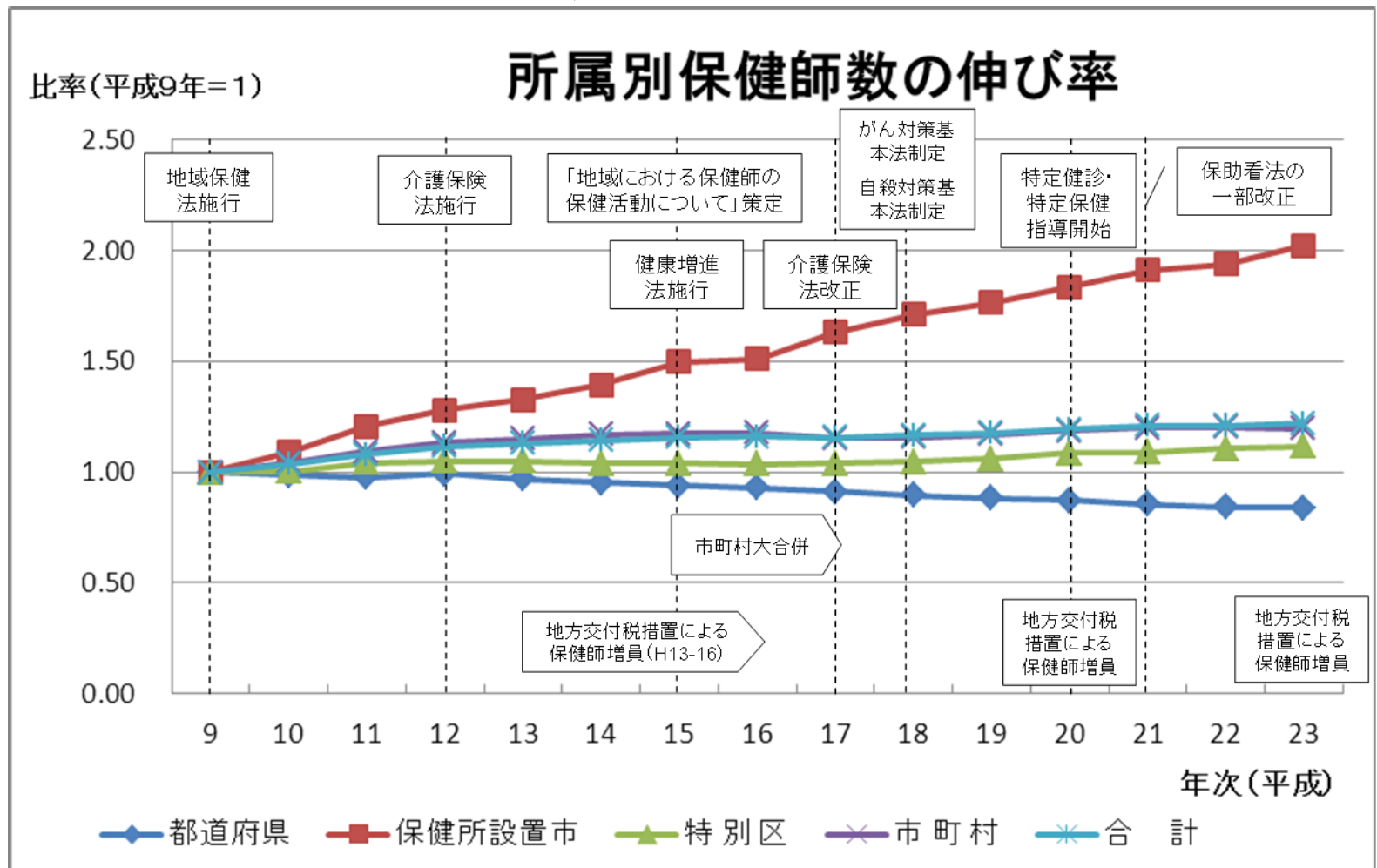
保健師数の推移

- 自治体の常勤保健師数は、平成9年の26,271人から平成23年の31,994人と5,723人（1.2倍）増加。



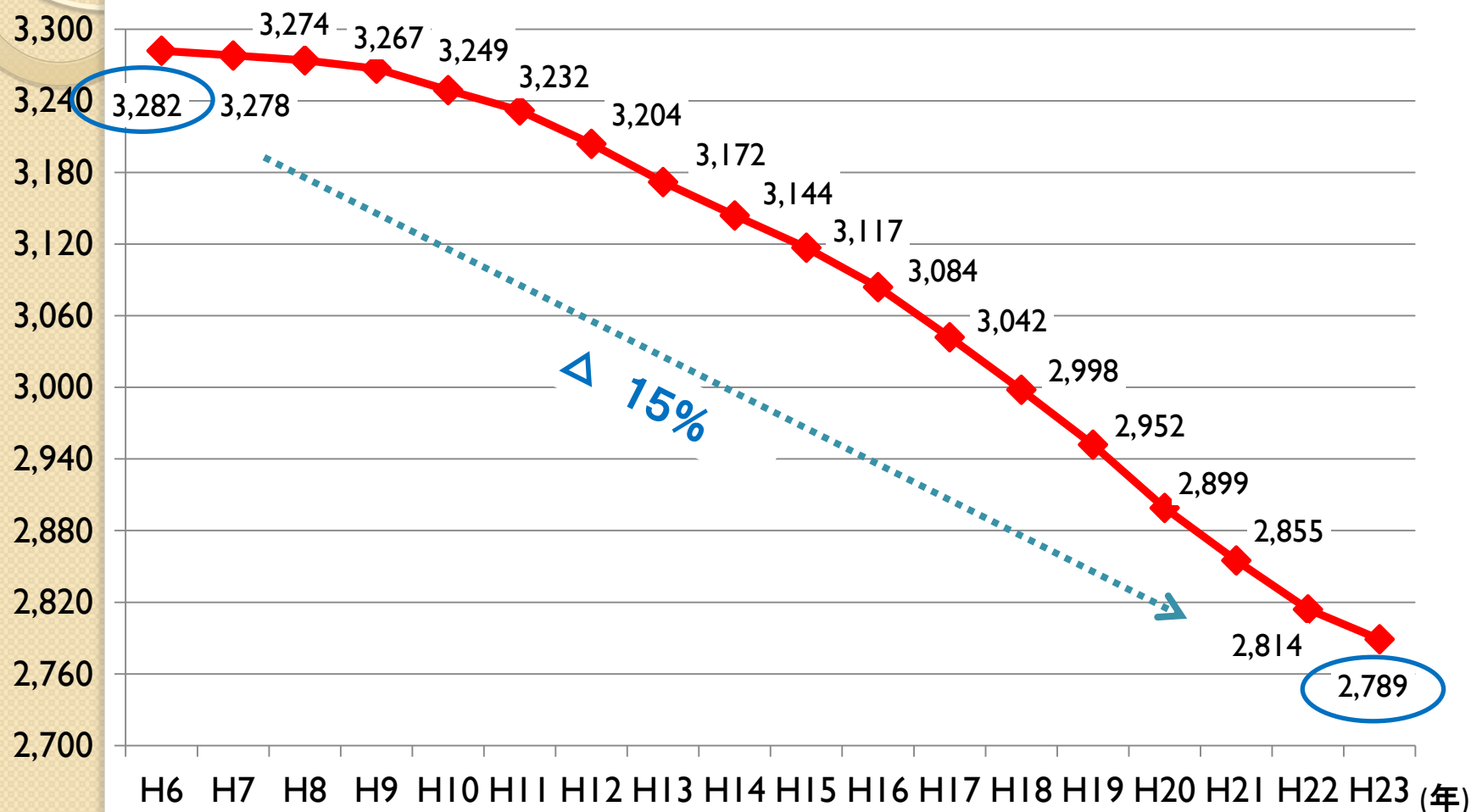
所属別保健師数の推移

- 都道府県以外の自治体では増加。
- とりわけ、保健所設置市では2倍に増加。



地方公共団体の総職員数の推移 (平成6年～平成23年)

(単位:千人)



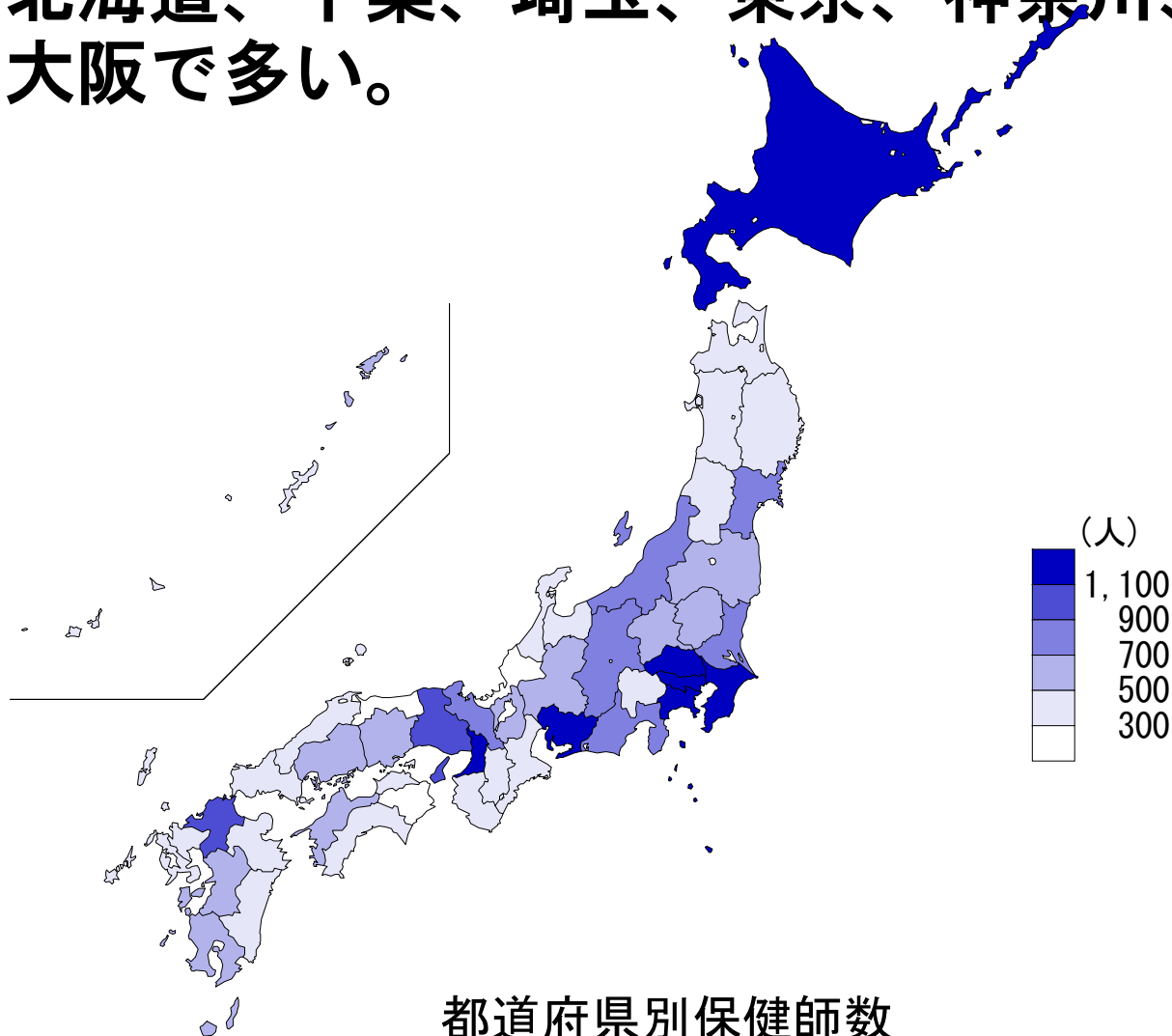
出典: 平成23年地方公共団体定員管理調査結果の概要(平成23年4月1日現在)



都道府県別の保健師数

常勤保健師数（都道府県別）

- 北海道、千葉、埼玉、東京、神奈川、愛知、大阪が多い。

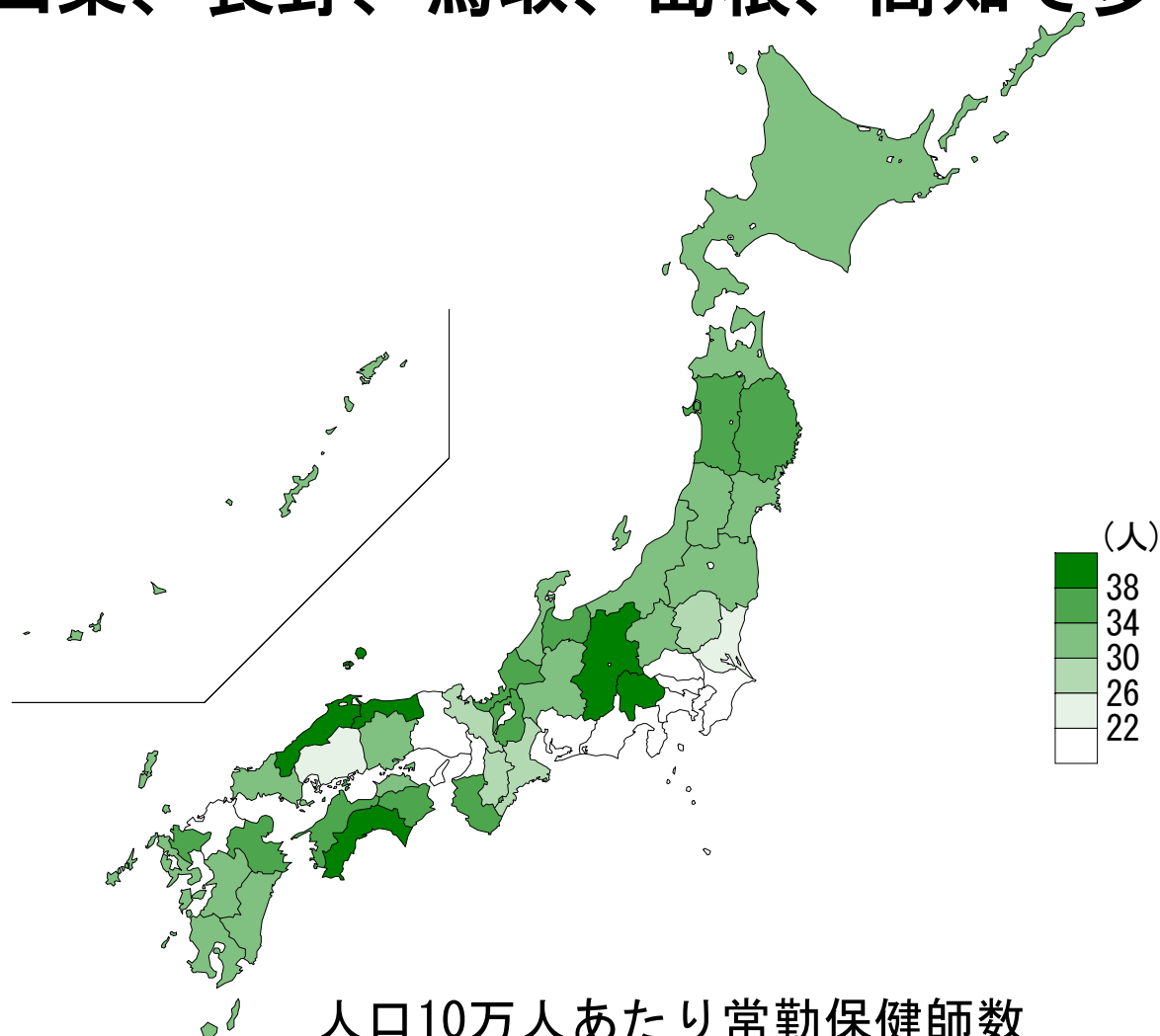


都道府県別保健師数

(平成23年度保健師活動領域調査(領域調査)より作成)

人口10万人あたりの常勤保健師数 (都道府県別)

- 山梨、長野、鳥取、島根、高知が多い。



人口10万人あたり常勤保健師数

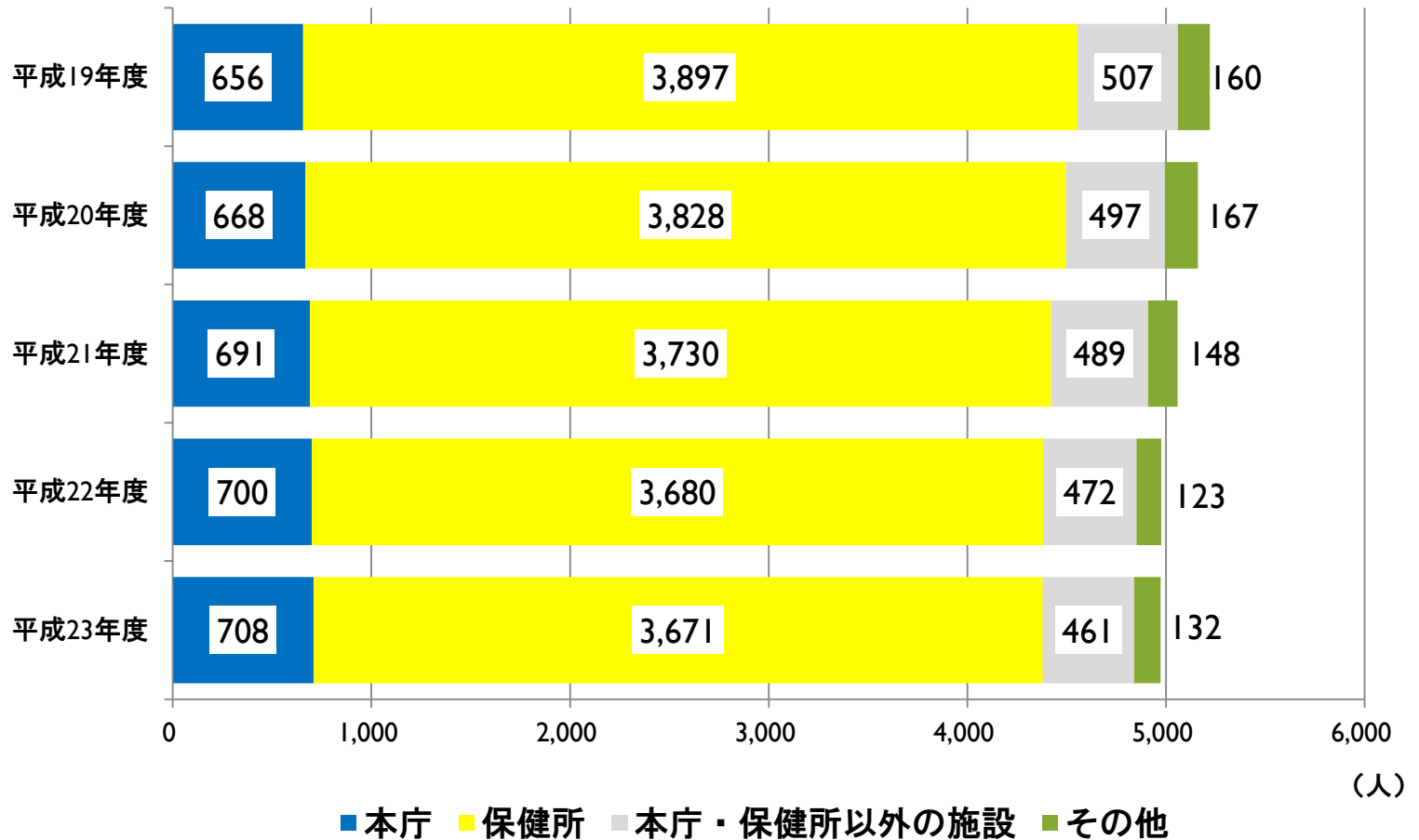
(平成22年度国勢調査人口、平成23年度保健師活動領域調査(領域調査)より作成)



保健師の配置部門に関する 5年間の推移

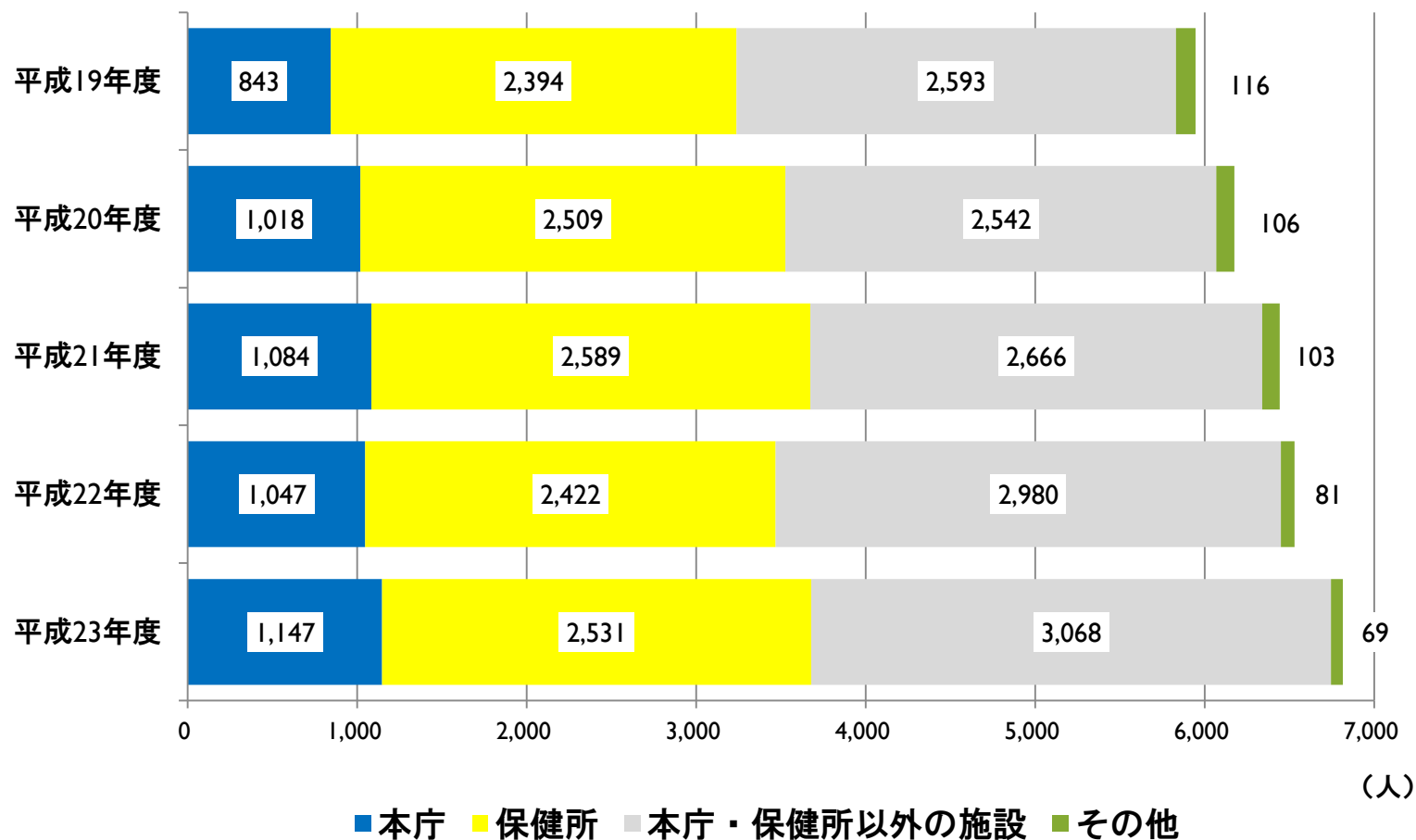
保健師の配置部門の推移（都道府県）

- 本庁に所属する保健師のみ微増している。



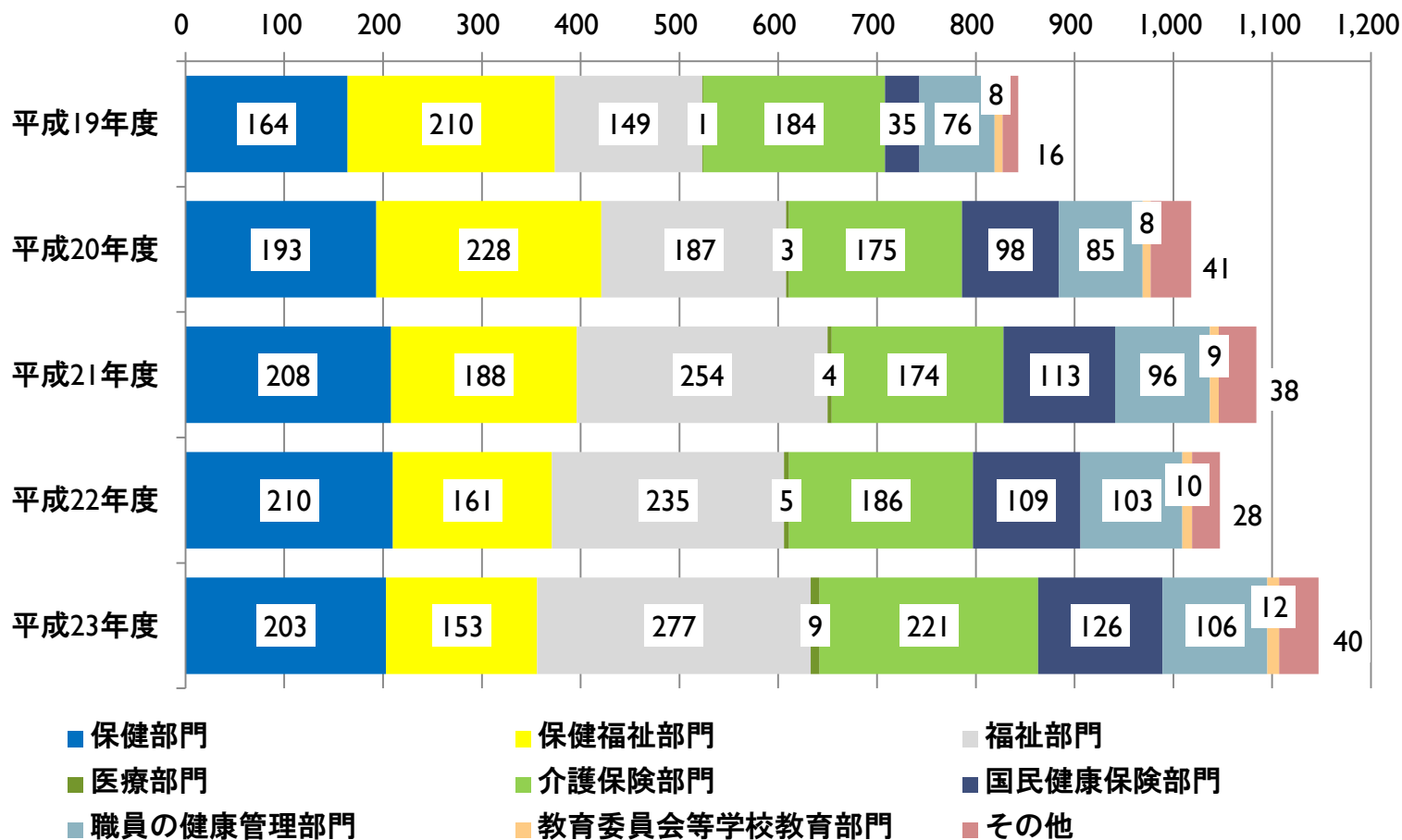
保健師の配置部門の推移（保健所設置市）

- 本庁、保健所、本庁・保健所以外の施設に所属する保健師が増加している。



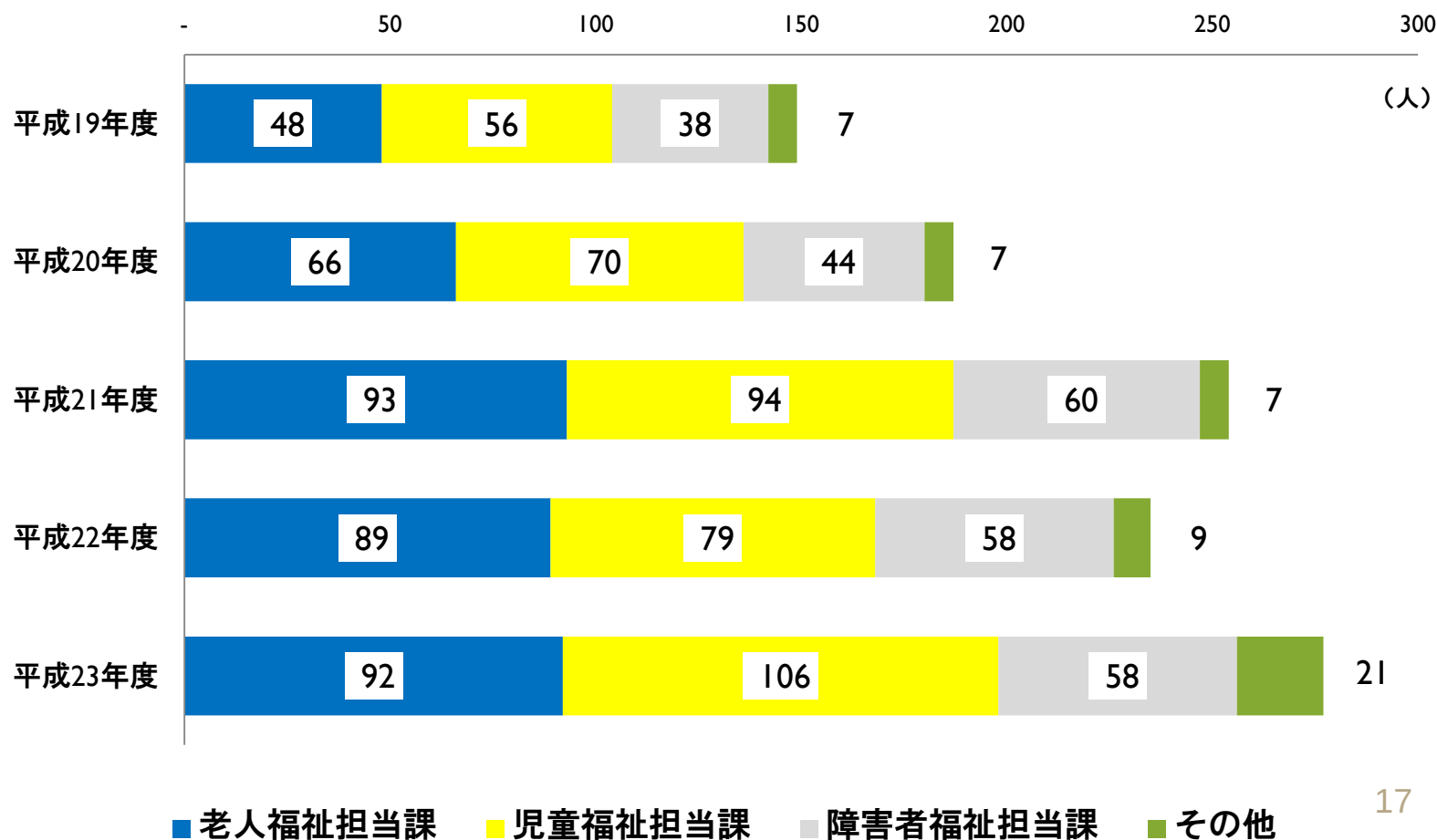
保健師の配置部門の推移 (保健所設置市の本庁部門の内訳)

- 介護保険部門、国民健康保険部門、福祉部門で増加がみられる。



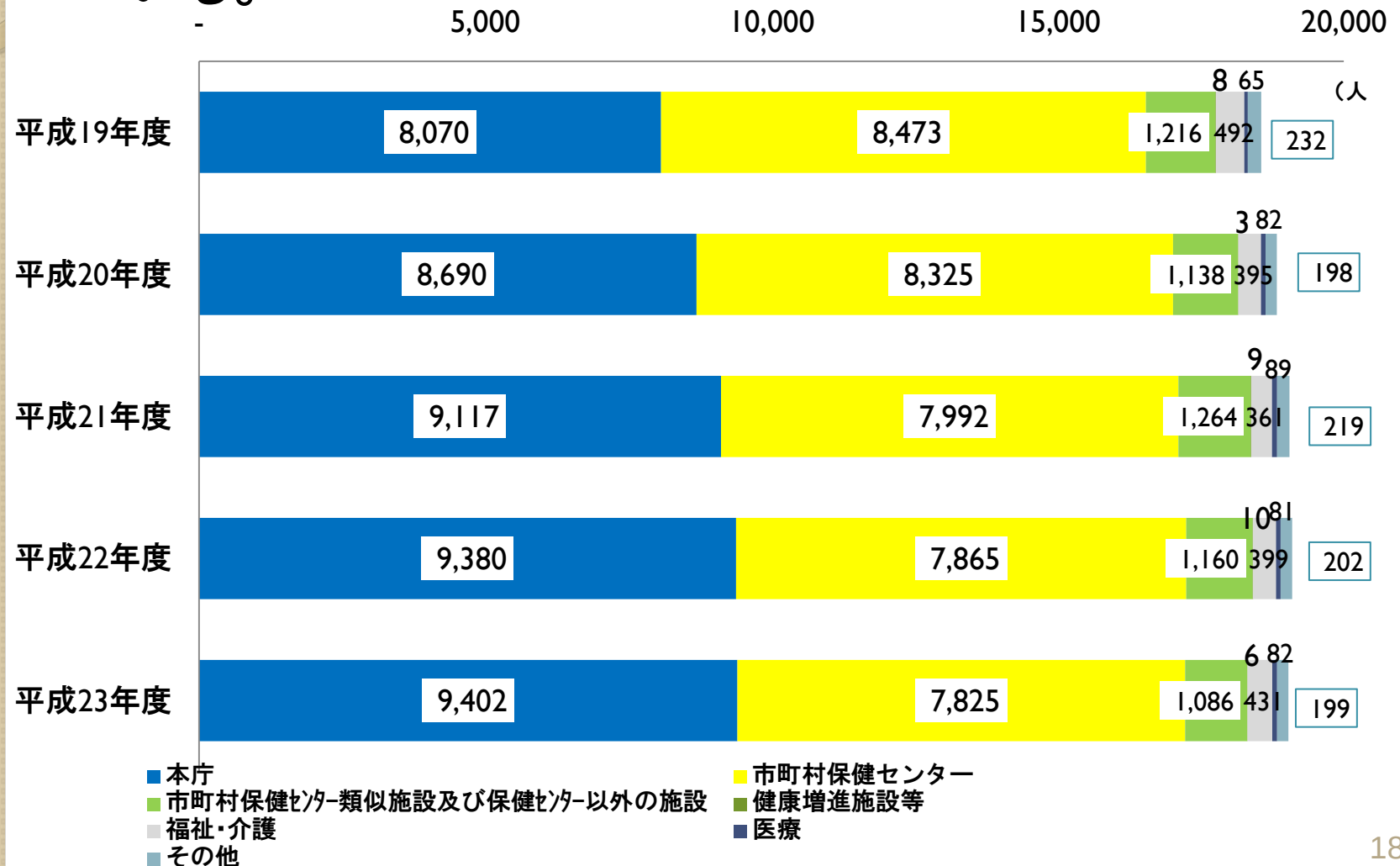
保健師の配置部門の推移 (保健所設置市の本庁福祉部門の内訳)

- 23年度は児童福祉担当課で急激な増加がみられる。



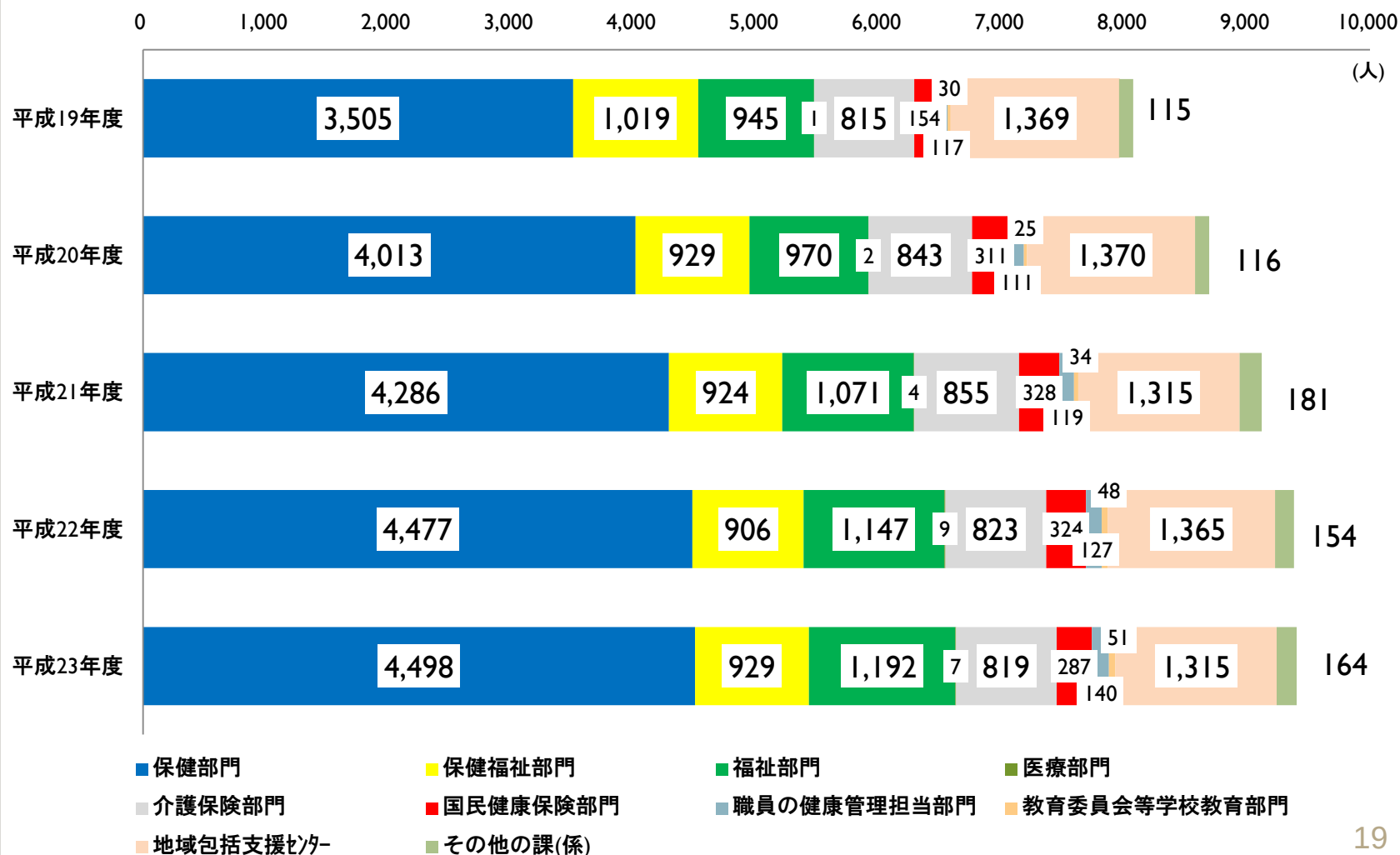
保健師数の配置部門の推移（市町村）

- 本庁、福祉・介護施設に所属する保健師が増加している。



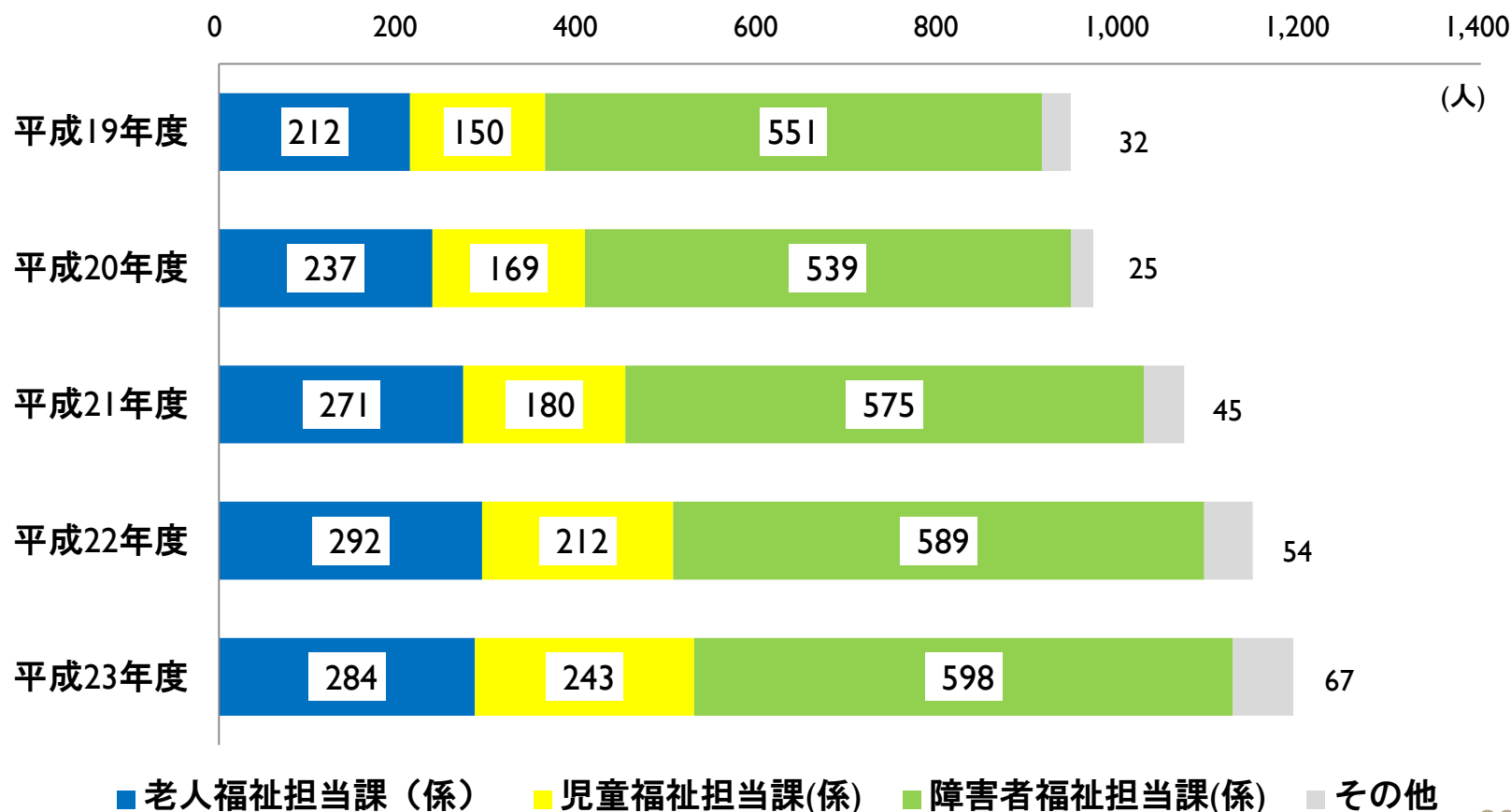
保健師の配置部門の推移 (市町村の本庁部門の内訳)

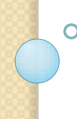
- 保健部門、福祉部門に所属する保健師が増加している。



保健師の配置部門の推移 (市町村の本庁福祉部門の内訳)

- 児童福祉担当課（係）、障害福祉担当課（係）が増加している。

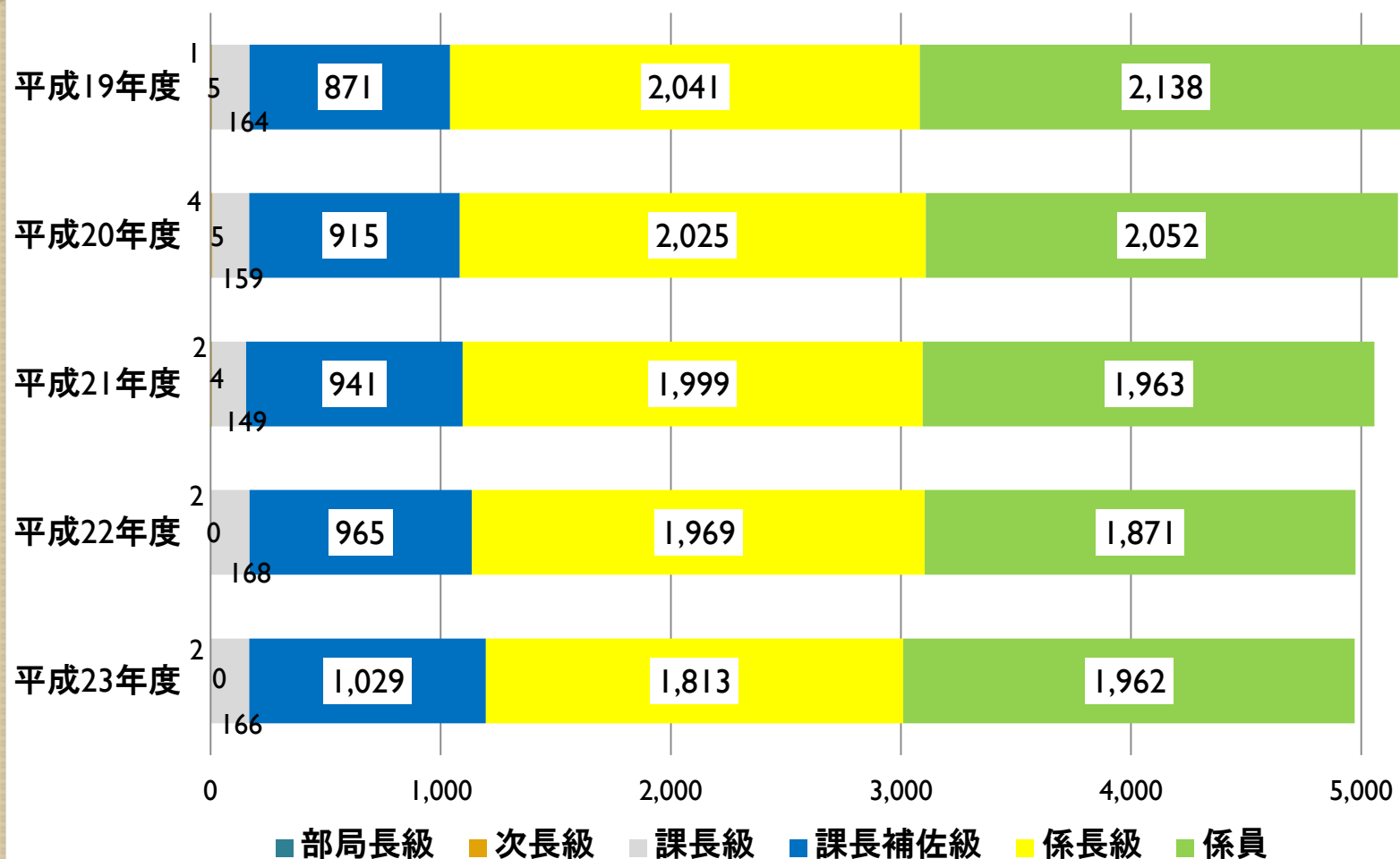




職位別保健師数

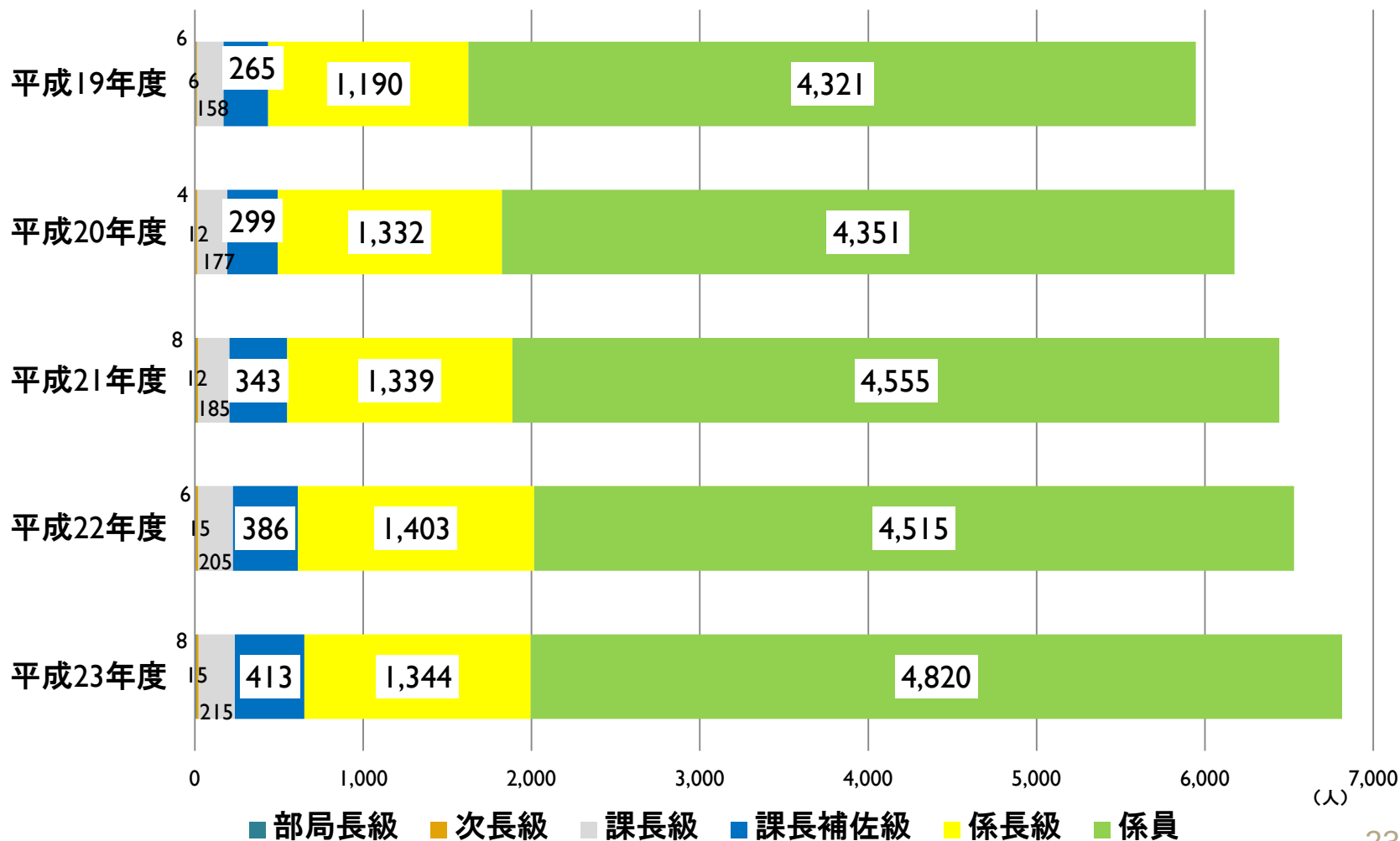
職位別常勤保健師数（都道府県）

- 課長補佐級の保健師が増加し、係長級が減少している。



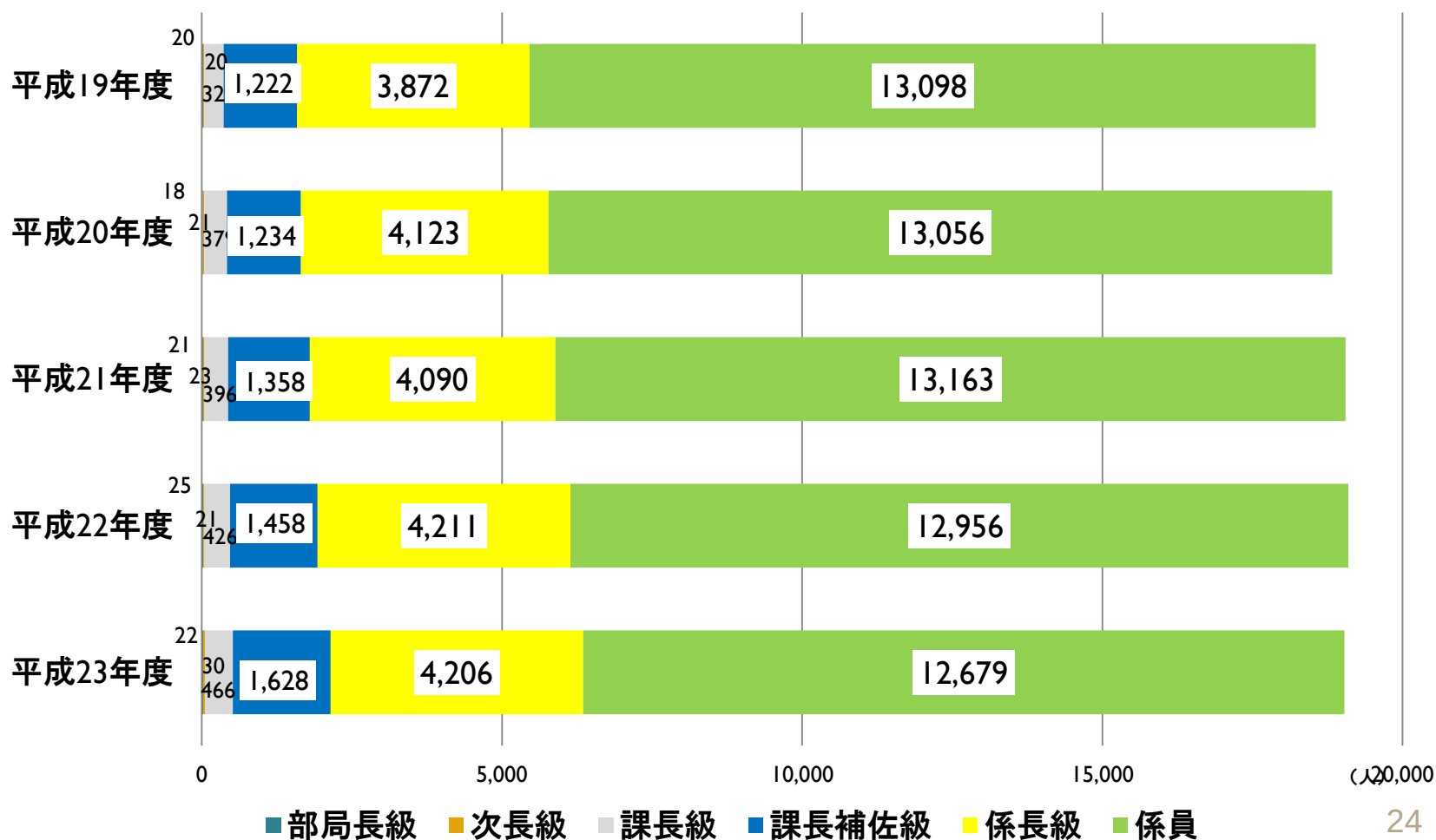
職位別常勤保健師数（保健所設置市）

- 課長級、課長補佐級、係長級、係員すべてにおいて増加している。



職位別常勤保健師数（市町村）

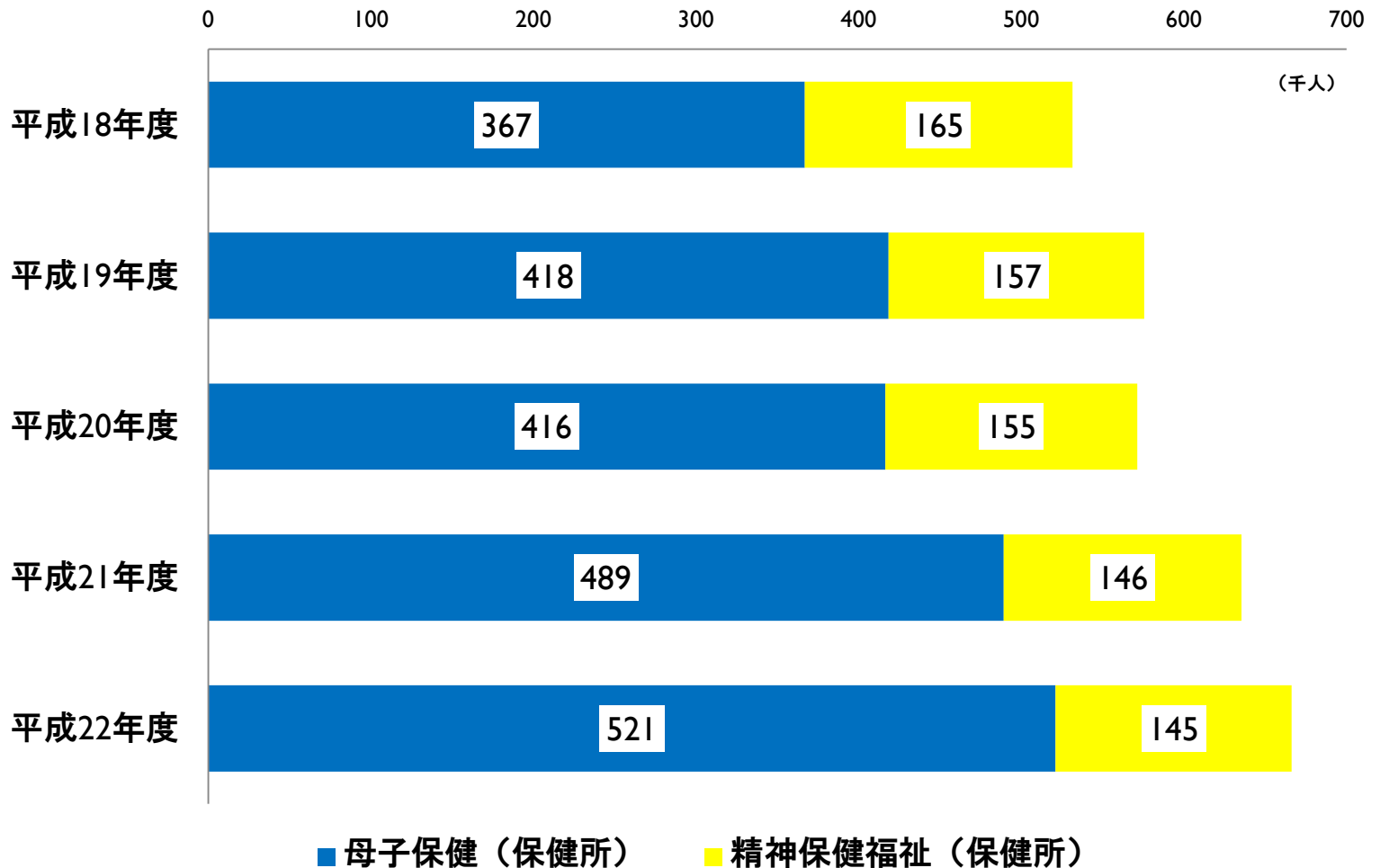
- 課長級、課長補佐級、係長級の保健師が増加し、係員が減少している。





地域保健事業・健康増進事業の変化

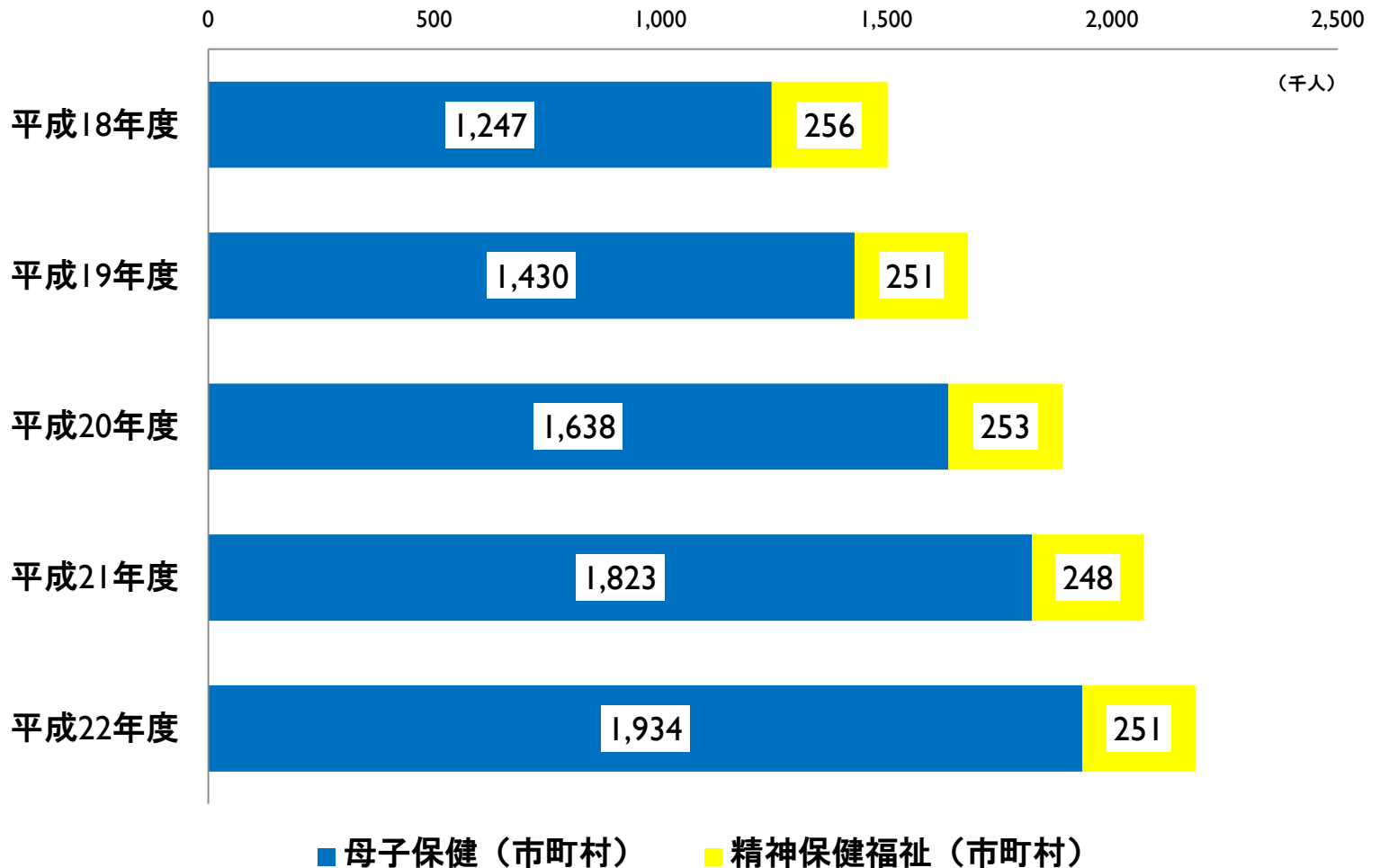
母子保健、精神保健福祉による家庭訪問の被指導延人員の推移（保健所）



平成18年度～平成19年度地域保健・老人保健事業報告、平成20年度～平成22年度地域保健・健康増進事業報告をもとに作成

平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

母子保健、精神保健福祉による家庭訪問の被指導延人員の推移（市町村）

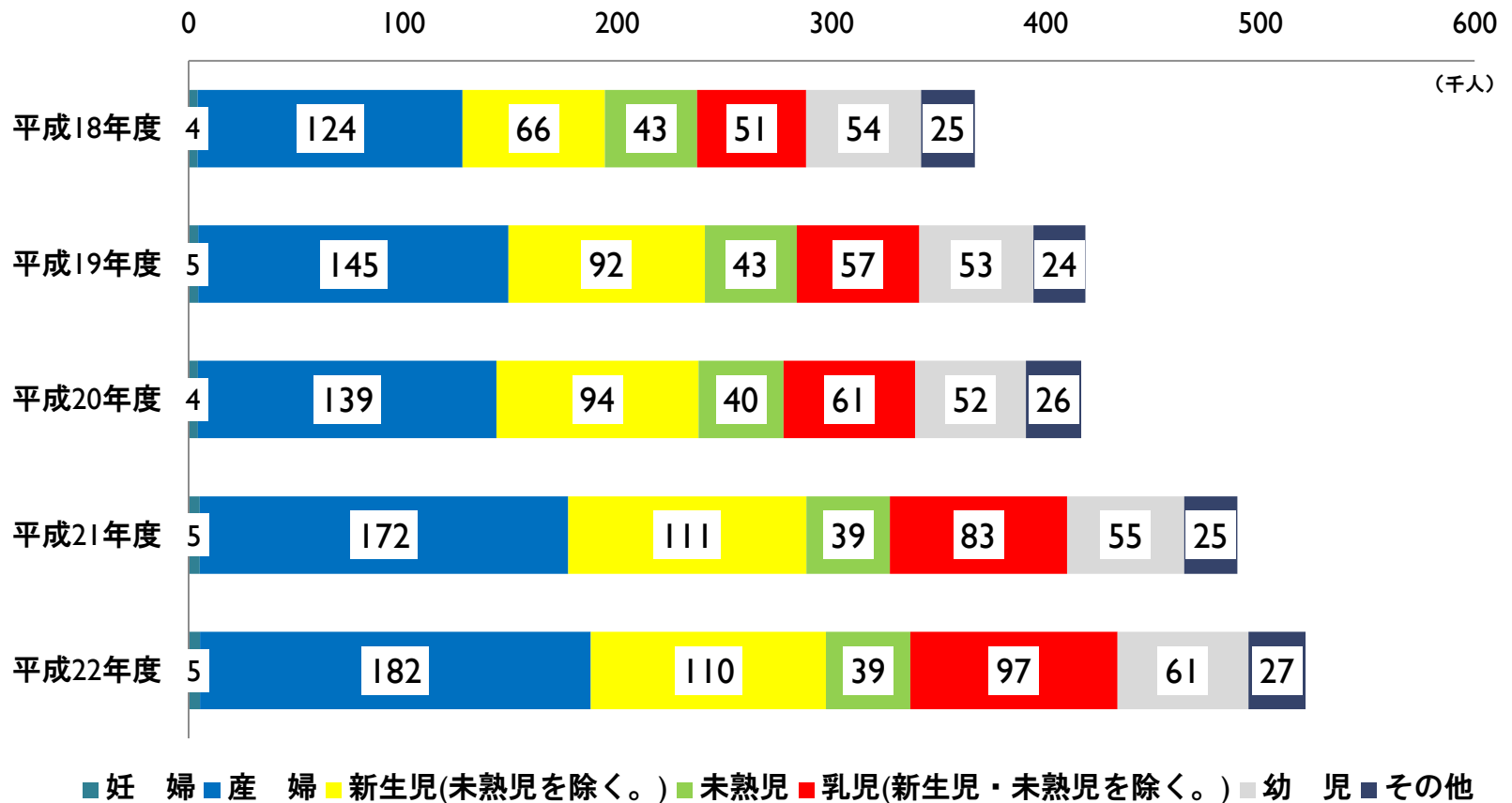


平成18年度～平成19年度地域保健・老人保健事業報告、平成20年度～平成22年度地域保健・健康増進事業報告をもとに作成

平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

妊産婦及び乳幼児等訪問指導の被指導延人員 (保健所)

- 総数が増加しており、特に産婦、乳児・幼児に対する訪問指導が増加している。

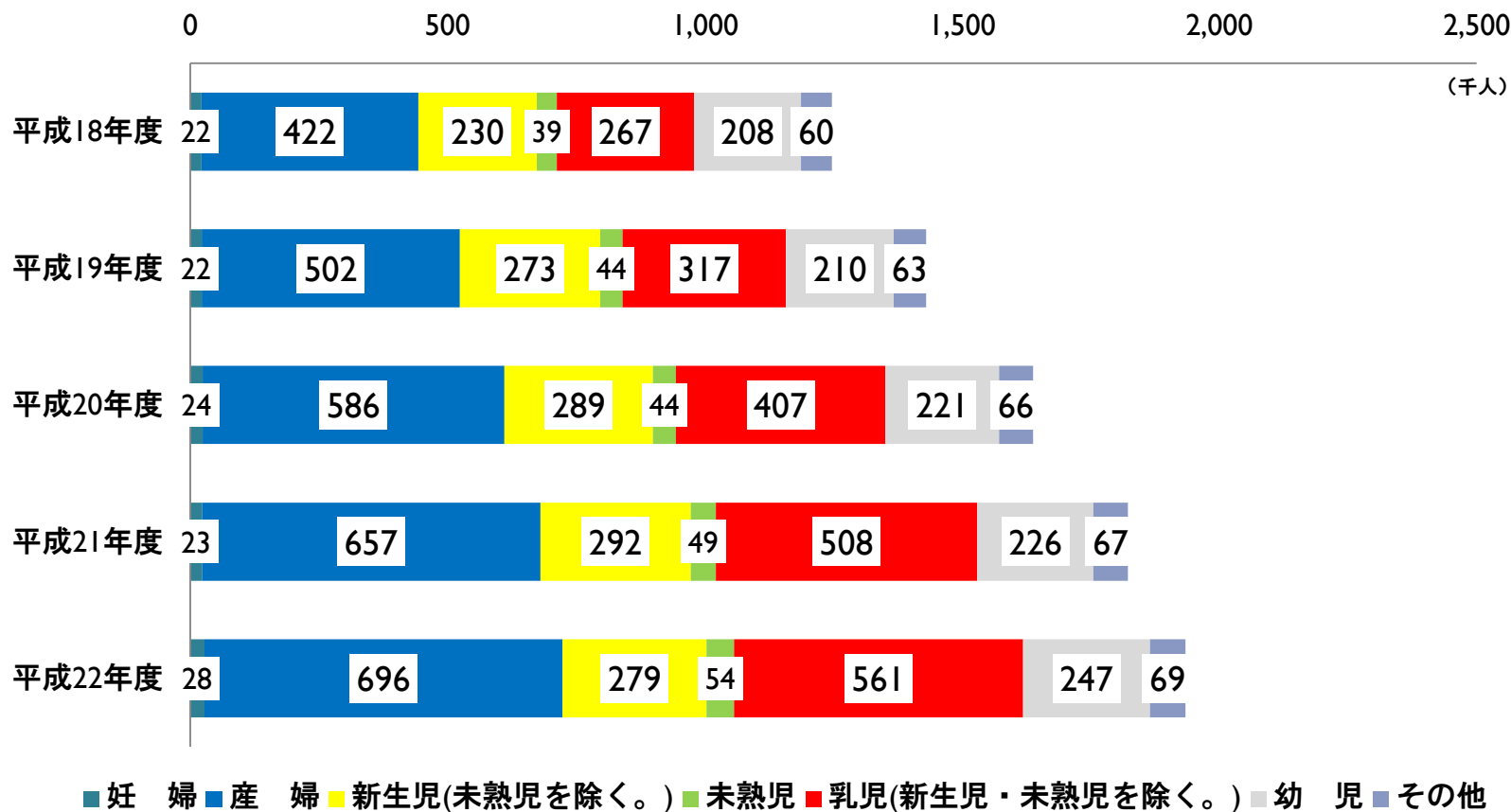


平成18年度～平成19年度地域保健・老人保健事業報告、平成20年度～平成22年度地域保健・健康増進事業報告をもとに作成

平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

妊産婦及び乳幼児等訪問指導の被指導延人員 (市町村)

- 総数が増加しており、特に産婦、乳児・幼児に対する訪問指導が増加している。

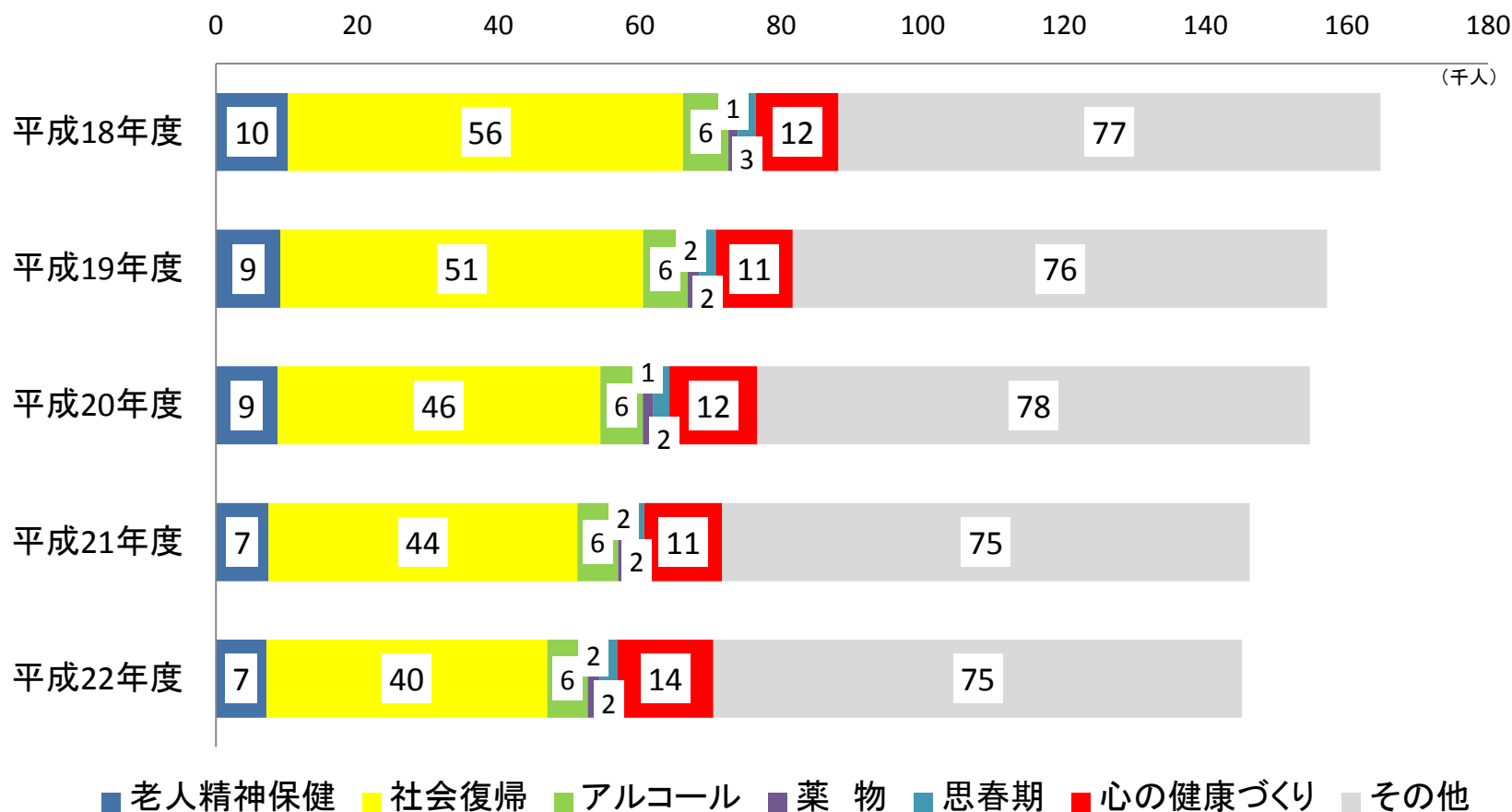


平成18年度～平成19年度地域保健・老人保健事業報告、平成20年度～平成22年度地域保健・健康増進事業報告をもとに作成

平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

精神保健福祉訪問指導の被指導延人員 (保健所)

- 総数が減少しており、特に社会復帰が減少している。

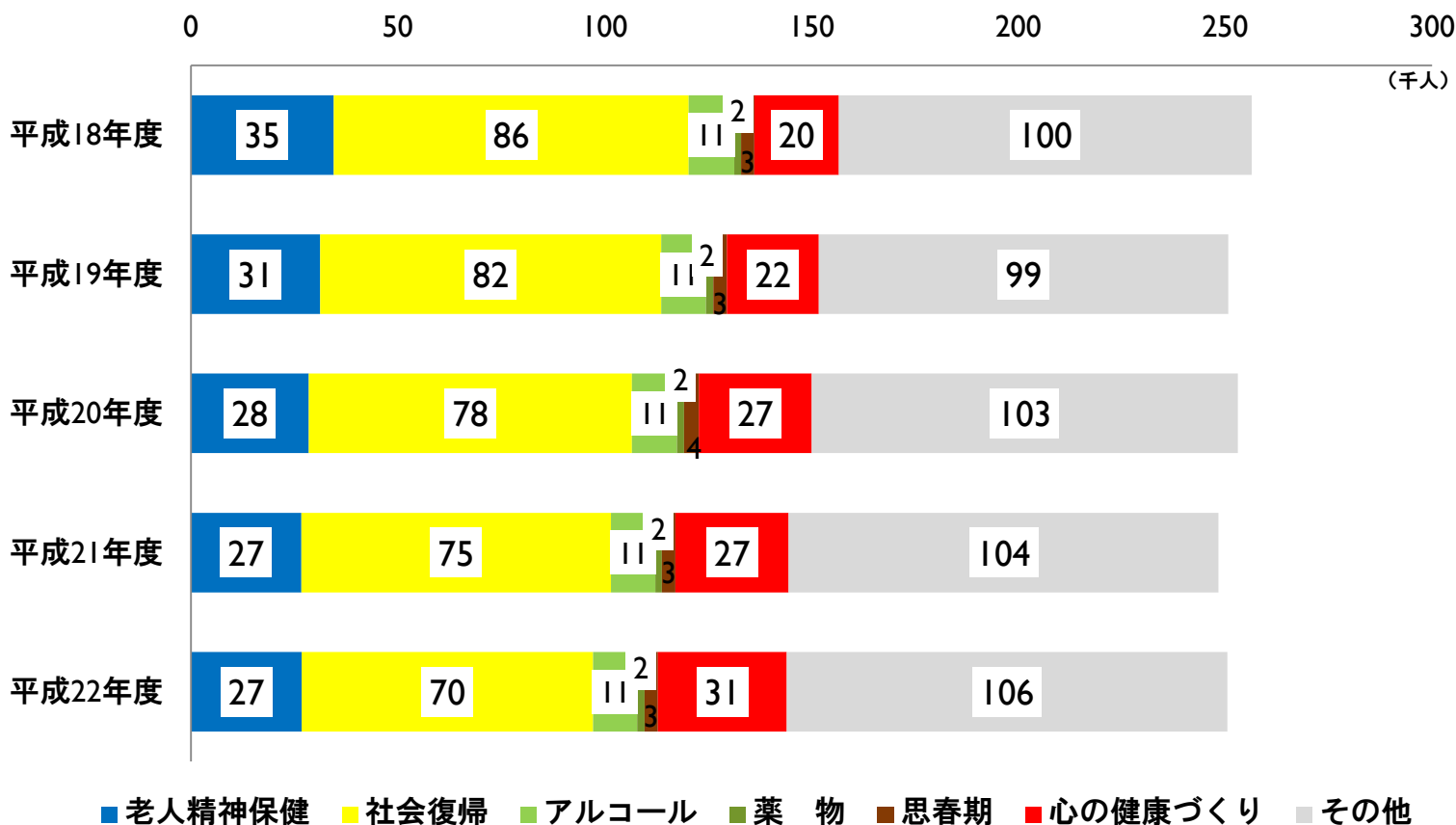


平成18年度～平成19年度地域保健・老人保健事業報告、平成20年度～平成22年度地域保健・健康増進事業報告をもとに作成

平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

精神保健福祉訪問指導の被指導延人員 (市町村)

- 総数は変わらないが、社会復帰が減少し、心の健康づくりは増加している。

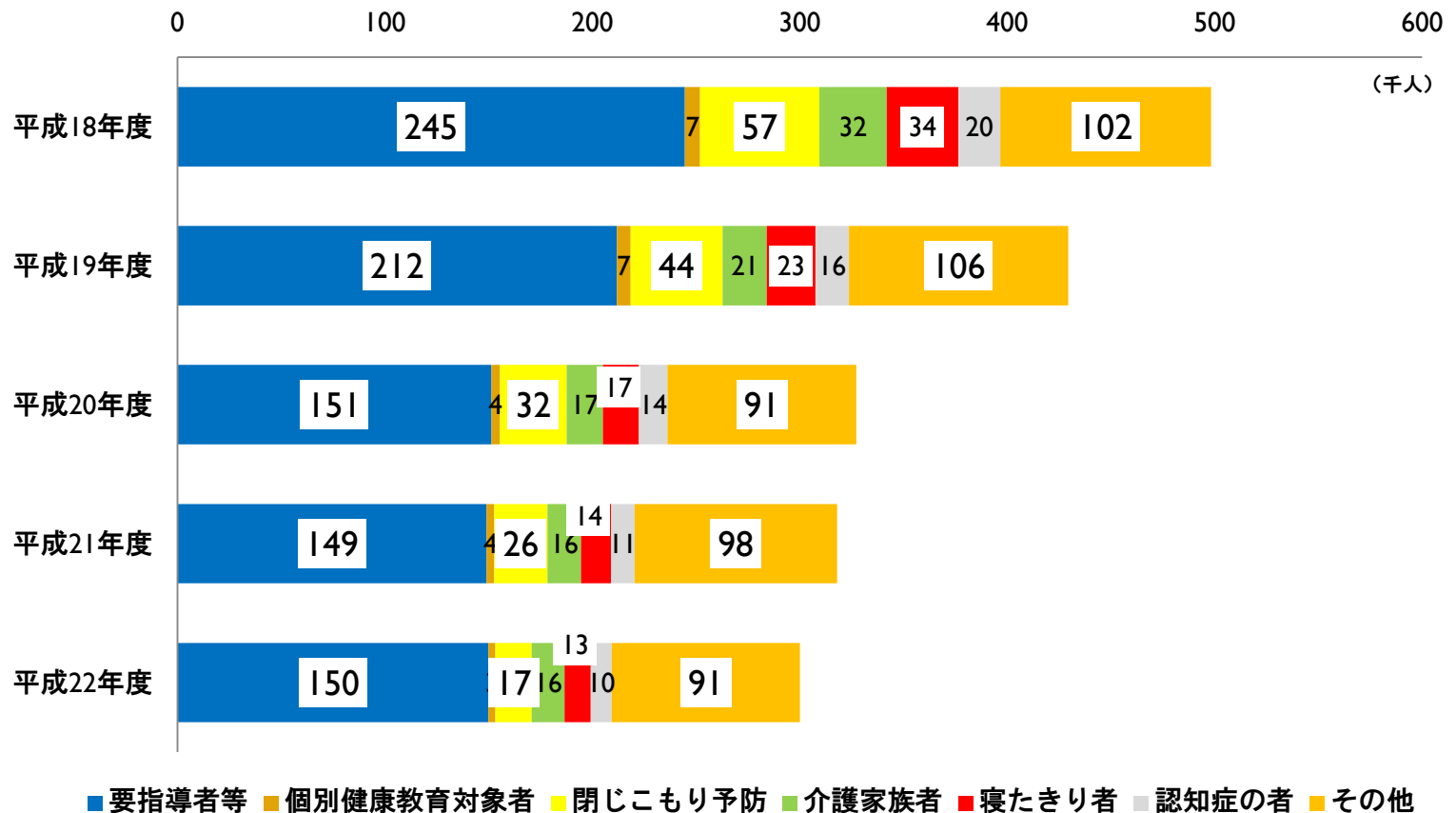


平成18年度～平成19年度地域保健・老人保健事業報告、平成20年度～平成22年度地域保健・健康増進事業報告をもとに作成

平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

療養上の保健指導が必要と認められる人及びその家族に対する成人・老人等訪問指導の被指導延人員

- 平成18年度から平成20年度にかけて総数が大幅に減少し、平成20年度以降は特に閉じこもり予防、認知症の者が減少している。



平成18年度～平成19年度地域保健・老人保健事業報告、平成20年度～平成22年度地域保健・健康増進事業報告をもとに作成

平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

まとめ（速報）

- 保健師を取り巻く制度の変化や市町村合併等環境の変化により、保健師の活動領域は拡大している。
- 保健師数は増加傾向にあり、特に保健所設置市の保健師が増加している。
- 保健師数は都道府県によるばらつきがある。都市部と地方部で保健師数に違いがあるが、明確な傾向があるわけではない。
- 保健師の配置状況は保健所設置市、市町村において福祉・介護部門への配置が増えている。
- 職位別保健師の配置状況は、都道府県では課長補佐級が上位職となっている。保健所設置市はすべての職位が増加、市町村は係員以外が増加している。
- 地域保健事業のうち妊産婦及び乳幼児等訪問指導が増加している。

保健師活動領域調査の結果

- 厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/139-1.html>

- 総務省統計局

【政府統計の総合窓口(e-stat)】

<http://www.estat.go.jp/SGI/estat/NewList.do?tid=000001035128>